

美山町知見にある大畠谷川の支流出合いに掛る橋を渡るとすぐに墓地がある。この場所はタケガダンから北東方向に伸びる尾根の先端である。

墓地の左手から尾根に取り付く。障害は少なく歩きやすい。標高差 100m も上がると尾根はほぼ水平になると、この辺りでよく見かけるイワカガミの群生やママコナが見られる。尾根は自然林でタカノツメなどの木が多いが標高 470 の高さでブナがある。小ピーク 594m は横向きに登場する。山頂を確かめるまでもなく次に進むべき尾根が眼下に見える。方向を確かめると間違いは無い。ピークに続く尾根は広々としているが、ユズリハが密生した場所があり通過にはコツがいる。

P 570m を越えると痩せ尾根になるが関電道らしく黒色プラの階段があるが荒れているのでかえって歩きにくい。

タケガダン前衛峰への登りはブナ林の急斜面。右に左にと斜め歩きしながらようやく前衛峰に到着。穏やかなブナ林の道が山頂へと続いている。

タケガダンの山頂はそれほど広くはないが、ブナなどの樹林に囲まれた落ち着ける小広場。西隣にあるオバタケダンからの広く楽しそうな道が山頂直下に繋がっている。

食事後、前衛峰まで引き返して、南向きの尾根に乗る。ここには関電道のはっきりした道があるが、P 639m の手前で左手斜面に下っている。P 639m から少し進むとすぐに広いピークに出る。進行方向は変わらないのでそのまま進むと P 727m 手前の分岐点に着く。この辺りで雨がパラつくが上空の左右に青空が少し見えるので通り雨だろう。727m ピークは踏まずに分岐の尾根に向かう。送電鉄塔のあるピークからの尾根の接続点の見出しに苦労する。全員でコンパスを合わせて確認し微妙な尾根を確認する。すぐに痩せ尾根になるが少し荒れて歩きにくい。ピーク 531m からの尾根の接続も難しい。コンパスを合わせて緩やかに下り始める。標高 400m 手前で右に少し尾根がカーブするのだが少し違和感がある。コンパスを合わせるが方向は確かに合っているが、左手に現在地点の尾根より少し高い尾根が見えるのでトラバース気味に歩いて、その尾根に乗ると違和感が消えた。無事に尾根を辿って民家の裏山に出た。見覚えのある風景がここで繋がった。

★メンバー 三鍋・他 5 名 ★コース 登山口 8:55～594m 9:51 発 57～570m 10:20
 発 26～鉄塔 10:38 発 47～山頂 11:10 発 11:40～P685m 12:52～P678m 13:10～鉄塔
 13:21 発 23～P531m 13:50 発 58～車道 14:43